

令和2年第9回庄原市教育委員会議
令和3年度使用中学校用教科用図書採択 議事録

- 1 日 時 令和2年8月19日(水) 午後1時44分から
午後4時45分
- 2 場 所 庄原市役所 本庁舎5階 第2委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 牧原 明人
教育委員 末信 丈夫、横山 和明、神本 久美、立花 有佐
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 教育部長 片山 祐子
教育部教育総務課長 莊川 隆則
教育部教育指導課長 東 直美
教育部生涯学習課長 今西 隆行
教育部教育総務課総務係長 亀山 慎也
教育部教育指導課学事係長 高淵 直哉
教育部教育指導課指導係長 横山 博之

6 議事録

| | |
|---------------------|--|
| <p>教育長</p> | <p>日程第4、議案第46号、令和3年度使用中学校教科用図書の採択について ただ今から会議を非公開とする。後日議事録を公開することについてお諮りする。よろしいか。</p> |
| <p>委員（全員）</p> | <p>よい。 それでは、日程第4、議案第46号、「令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」事務局より議案の説明をお願いします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>議案第44号、「令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」関係法及び関係規則に基づき、教育委員会の決定を求めるものである。「中学校用教科用図書採択に係る調査研究答申」の各教科の総合所見の欄を読んで提案する。 まず、国語の総合所見である。教材の終わりの「学びの道しるべ」の部分に、「思考の方法」「読み方を学ぼう」を掲載することによって、他教材や他教科の学習にも生かせる、確かな言葉の力をつけるための工夫がなされている。さらにこれらは巻末の資料編や折り込みに一覧としてまとめられている。読書活動において、著名な作家による読書体験のコラムやビブリオバトルなどの読書活動の方法等も掲載され、充実したものとなっている。以上の理由で、総合的に判断して「三省堂」が最も適している。</p> |
| <p>教育長 末信委員</p> | <p>事務局の提案について、質問、意見があればお願いします。 教科書の状況だが、光村の表紙の手触りはよいが、持ち方や開き方によって音がする。きしむ。東京書籍も若干その傾向があった気がした。あと注目したのが、1つは、古典で、平家物語が示してあるが、庄原市は敦盛さんとの関わりがある。光村は、扇の的のみで敦盛さんはない。他者はあった。三省堂は現代文も含めて、詳しく示してあるし、「学びの道しるべ」もあってよかった。ほかにも、教育出版や東京書籍も文章も詳しく示してある。「走れメロス」の分析で、心内語についてあったため、その扱いについて各教科書で比べてみたが、教科書によって多少違いがあった。また、「走れメロス」の漢字については、各者によって違いがあり、漢字にふり仮名を振ったり、漢字は省略して平仮名で示したり、難しい漢字にふり仮名がなかったりする表記があった。選定委員会の答申に対して異議はない。</p> |
| <p>神本委員</p> | <p>私は三省堂がいいと思った。1番いいと思ったところは、読み方を学ぼうということで、文書を正確に読み解き、深く読み合わせるための技やコツがあるということを示されており、学びやすい。読書と情報の扱い方に関する事項のところも、3年間を通して、書く活動の教材を掲載しながら、丁寧に示しているのも分かりやすくよかった。著作権のことなどを丁寧に表記している点でも、三省堂はよかった。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>まず4者の比較をして印象を述べると、各単元の目標が欲張り過ぎずにまとまっていたのが三省堂であった。答申にもあったが、各単元の学びの道しるべが目標に沿って端的であり非常によい。「語彙を豊かに」の内容もよかった。巻末の読書の広場も短編で、1年から3年まで、読みやすく主題が明確なよい本が選書されていると感じた。光村、東書、教出は、紙面にごちゃごちゃ感があった。特に光村の1年生は他者と比較すると文字が少し大きくて、大きい分詰め込み感があったという印象がある。3年</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>生はバランスがよくなっていた。それから、東書は、読書へのいざないが上手い。各学年ともに、読書への招待の内容がいい。読書案内もいいし、本で世界を広げようというのもとてもよかった。読書に関して言えば三省堂の1年で「本を読むことのおもしろさ」、2年で「生涯の友と出会う」3年の「谷間の君へ」と、各作家のコラムがとてもよかった。聞いたことがある、読んだことがある作家が出てくると、説得力がある。文章もとても分かりやすく、伝わる内容も、大変よかった。それからビブリオバトルのこともあったが、光村は読書活動をより進めて、3年生でブックトークと読書会を取り上げており、バージョンアップしていたということも感じた。それから、書くことについては、東書の1年で食文化、2年で地域の魅力、3年では環境を取り上げて意見を書く。身近なテーマで関心ももちやすいし、意見もち、考え、意見を読み手に伝えるという、書く作業にはっきりとした目的を持った効果があったと思う。三省堂では、情報をうまく使う情報リテラシーが配分されている。また、三省堂と教出には新聞への投稿を書く学習がある。実際にしっかりした意見文を書き、投稿すると必ず反響があるので、よい実践になると思う。そして、三省堂は将来的に必要な、小論文を書く力へとつながるといことも考えられる。それから古典のことに若干触れられたが、東書、三省堂、教出の伝統文化を学ぶという導入よりも、光村の「いにしえの心」に触れるから入っていくほうがいいのではないかというようなことも感じた。それから、巻末資料は東書のまとめがとてもよい。三省堂もいい。光村は漢字の復習が徹底している。教出の文法のまとめもよく、それぞれ巻末は特色があつていいものがあつた。私は総合的には、書く活動などにも力が入れてあり、学びの道しるべなど、工夫があるという点からすれば、三省堂がやっぱり一步抜けていると感じた。もう1点つけ加えて、東書であるが、もっと中学生が感情移入できるような子供が主人公となって読める楽しい本があつてもよいと思った。</p> <p>他に何か意見はあるか。</p> <p>委員（全員） ない。</p> <p>教育長 それでは、総合的に判断して、「三省堂」ということでよいか。</p> <p>委員（全員） よい。</p> <p>教育長 それでは国語は「三省堂」に決定する。続いて書写について、事務局より提案をお願いする。</p> <p>事務局 書写の総合所見である。教材ごとに目標を明記しており、一時間の学習のポイントが簡潔に示されている。また、学習の途中で課題を発見し、課題を解決していく学び方や話し合い活動を通した学び方を示し、話し合い活動の際に使う書写の学習用語についても示されている。毛筆の教材数も豊富で、毛筆で学習した内容を硬筆に応用する課題を設定したり、日常生活に生かせる教材を多く扱ったりすることで、発展的な学習につながるができる。以上の理由で、総合的に判断して「教育出版」が最も適している。</p> <p>教育長 事務局の提案について、質問、意見があればお願いする。</p> <p>末信委員 サイズは教育出版と東京書籍が大きかった。ゆとりがあつて内容が豊富で理解しや</p> |
|--|--|

| | |
|--------|--|
| | <p>すい気がした。それからもう1点気になったのは、「な」「ね」「ぬ」「る」「の」のくるっとしていてる部分の違いについての扱いである。光村は「な」という字のくるっとしたところを、このように書くという説明があった。例えば、「ね」や「る」は、くるっとしていてる。東書は違いが分かるように書いてあるが、説明はない。教出版は違いを示していない。字の書き方や形が違うのは、平仮名の基本だと思うが、今はそんなことはあまり言っていない。学校で習ったことは一生使うので、これは本当に重要であり、ちゃんと指導する必要があると思う。教育出版は文字の活用の例がいろいろ多かったような気がして、大変参考になるという気がした。</p> |
| 神本委員 | <p>仮名については意識していなかったが、教育出版の題のところの書き方が非常に分かりやすい。1年は、毛筆の教材例とかも非常にいい教材例ではないかと感じて、教育出版がよいと感じた。</p> |
| 立花委員 | <p>私も教育出版がいいと思った。お手本の字や、コラムで「あの人が残した文字」というところで様々な方々の筆跡が分かるのがよい。</p> |
| 横山委員 | <p>私はサイズ感のことで言うと、A B版の方がよいと思った。</p> |
| 教育長 | <p>教育出版は詩について金子みすずから入り、三省堂は谷川俊太郎から入っている。また、書写の「文房四宝」についてよく分かる説明があるのが、教育出版だった。教育出版は、小学校からの接続を意識させるような取り組みがあり、相手意識とか目的・方法意識も明示してある。先ほどあった行書の筆遣いの基本があり、書道の場合は、見開きが完結型で非常に分かりやすい。学び方の手順も明確に示されている。同じように、東書の場合も、書写のかぎや、日常生活に生かすなど、文字と向き合うとかいうような工夫もあった。三省堂の場合も、簡潔明瞭に、すっきり分かりやすくまとめている。「文房四宝」も分かりやすく記されていた。それから光村は唯一、単元が学年制になっていない。あとの3者は学年ごとにまとめてあったが、光村だけは単元制だった。単元で1、2、3学年というように編集されているから、子供や指導者が混乱するのではないかと感じた。また、硬筆でいうと、手紙のエアメールが入っているのは教育出版だけだった。往復はがきの書き方や願書の書き方を比べると、教育出版は、往復はがきには氏名という言葉が使っており、願書も保護者があり令和の表記となっている。他の3者は名前という表記や願書が本人のみになっており、細かいことだが、整っていたのは、教育出版であると感じた。その他いかがか。</p> |
| 末信委員 | <p>どこも目標は示してあったが、教育出版の場合、学習テーマごとに、目標が全部示してある。学習しやすいのではないかと感じる。</p> |
| 教育長 | <p>4者中1つだけ、光村の書写ブックが別冊であった。これが硬筆の練習になっていた。他の3者と違うところであり、工夫点だと思った。</p> |
| 教育長 | <p>それでは今、教育出版に賛同の声が出ている。総合的に判断して、「教育出版」ということでよいか。</p> |
| 委員（全員） | <p>よい。</p> |
| 教育長 | <p>それでは書写は「教育出版」に決定する。続いて地理について、事務局より提案を</p> |

| | |
|-------------|--|
| 事務局 | <p>願います。</p> <p>地理の総合所見である。写真や地図、グラフなどの資料を多く掲載し、学習意欲を高め学習課題へと誘い、資料やコラムを読み取る作業を通じて整理分析を行うなど、生徒が主体的に学習に取り組む工夫がなされている。発展的な学習に関する内容も充実しており、学習する上で中心となる視点を示しているため学習を深めることができる。以上の理由で、総合的に判断して「東京書籍」が最も適している。</p> |
| 教育長 神本委員 | <p>事務局の提案について、質問、意見があれば願います。</p> <p>今回新たに防災教育が地理の分野に入ったのでそこを重点的に見た。見れば見るほど分からなくなってしまうという部分もあるが、ハザードマップの取り扱いをしているのが日文と帝国書院だった。このハザードマップの取扱いは、自分の身を守るためにも必要なことだと思うので、これを扱っているのはいいなと思った。</p> |
| 教育長 | <p>災害の関係の観点から見たときに、そういう特徴があるという意見である。その他いかがか。</p> |
| 横山委員 | <p>地理はまず、世界の気候ごとに地域を見ていき、そのあと地誌を学んでいく。その中で地誌は地域ごとの実際の地理を見ていく。まず地図でこの地域がどこにあって、どの国がこの地域に含まれているかということ学んでいくが、それが分かりやすく載っている方が学びやすいと思う。日文は非常に地図が小さい。東書、帝国、教育出版は地図が大きくて分かりやすい。地理・歴史・公民を同じ出版社で考えたとき、東書がよいという気がした。分かりやすいし、非常に学びやすい。日文はどういう国がこの地域にあるというのが分かりにくかった。中学校で世界の地理をある程度は理解をしておかないと、高校では選択教科になるため、全然地理が分からない大人ができてしまうということになると思う。だから、そういう意味で、世界地理というものが、ある程度頭に入りやすいということが肝心なのかなと思った。</p> |
| 教育長 | <p>その他いかがか。分野が地理・歴史・公民とあるが、とりわけ地理と歴史は、学年をまたがって勉強するという特徴があるので、歴史の方も一応視野に入れて意見交換をしながら、地理と歴史を分けるか、一緒にトータルで考えたらどうなるかを議論したらどうかと考える。公民は独立するということも可能だと思うので、歴史を先に説明をしていただいて、それから一緒に議論したいと思うがよいか。</p> |
| 委員（全員） | <p>よい。</p> |
| 教育長 | <p>それでは、併せて歴史について、事務局より提案を願います。</p> |
| 事務局 | <p>歴史の総合所見である。社会科歴史的分野、答申の7ページ。身近な地域の歴史を調べる「調べ学習」では、学習のポイントや事例を掲載するとともに、調べる手順・方法（テーマの設定、調査、考察、まとめ、発表、振り返り）についても分かりやすく示しており、生徒が主体的に学習に取り組むための工夫がみられる。また、思考ツールを活用して、前時代との比較を通して時代の特色を文章でまとめる方法を例示するなど言語活動の充実も意識されている。以上の理由で、総合的に判断して「東京書籍」が最も適している。</p> |
| 教育長 | <p>地理と歴史の関連も考えながら、出版社が1つしかないものは独立してもいいとい</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>神本委員</p> | <p>うことも踏まえながら、御意見をいただきたい。先ほど地理は、防災の観点、あるいは地図の観点等々が出たが、その他意見はないか。</p> <p>細かいことだが、東書はインデックス機能がない。日文はインデックスで分けてあるので、開きやすいという点があった。社会科は調べ学習が多いのでぱっと見やすいものがよいと思う。歴史も時代別にぱっと開けない。日文の場合は、時代別にインデックスがあり、横に年表が入っているので、非常に見やすい。</p> |
| <p>横山委員</p> | <p>地理は見やすさと言えば、地図は別にあるが、やはり帝国が地理は分かりやすい。帝国の専門であるため、当然そうだと思うが、帝国の歴史も、年表や写真は多い。年表とか図表を使いながら学習することが分かりやすい。歴史の記述について比べた。一つはちょうど平安時代から鎌倉時代にかけて、貴族の政治から武士の政治になり院政が絡み武士が台頭してくる時代についてどのような記述になっているかを見た。日文がうまく書かれている。院政は分かりにくく、上皇が関わってくる理由や役割が分かりにくい。さらっと書いてあるところもあれば非常に詳しく書いてあるところもある。日文には、上皇が院政をしたらどういう時代になってきたかという表があり、非常にそれが分かりやすい。荘園の寄贈により、僧兵と武士との力関係が変化するという流れが文章で分かりやすく書いている。同じような写真が使われているが、図説が非常に分かりやすく書いてあるところがよい。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>今回地理は非常に帝国が分かりやすく、読みやすかったという印象がある。資料もデータもいいし、18カ所のコメントもいい。「どこか探してみよう」という導入があり、工夫してある。また東書は、読みにくい面もあつたりはするが、ねらいは明確である。東書は、学習の流れの見通しがもちやすいと思う。また、歴史との関連になったときに、一長一短があった。トータルで言うと、東書のほうが、年表が各ページにきちっと整理されており、資料の見方の説明もあり、工夫してあると思った。摂関政治の内容をポイントとして比較した。摂関政治の時代が終わるという後三条天皇の政治まできちっと書いてあるのは東書であった。それから、帝国の歴史の後ろにある年表が非常に分かりやすい。日文は出来事と年表もあり、一長一短がある。</p> |
| <p>末信委員</p> | <p>写真や絵、文章、資料等が多いのは、地理にしても、歴史にしても東書だった。その他でいうと歴史で、日文は事実に目をそらさずに忠実に描いている。それから、帝国は、未来に向けてということで、43テーマあり参考になる。東書は、地域の歴史を調べようということで、広島が扱われている。東書は課題解決的な学習を行う一貫した流れがあった。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>未来に向けてという取り組み例は、帝国25テーマ、地域のあり方、SDGsに関わる問題やテーマがあった。資料データはよく整っていると感じた。</p> |
| <p>横山委員</p> | <p>中学校の歴史は、世界史と日本史と両方学ぶ。それ以降は世界史と日本史で分かれてしまうので、1番最初に、全部ではないが、時期や年代の表し方をまず学ぶ。だから、日本の歴史のときには、年号、元号が出て、次に西暦が出るということで、まず1番最初に学ぶようにできているのが、東書が取り組みやすい。「B.C」の由来や元号はいつから始まったのか、日本はどの年代に分かれているのかということをも基本的</p> |

| | |
|--------|--|
| 教育長 | <p>にまずここで習ってから始めないといけない。高校生が紀元前 4000 年前は今から何年前と聞いて分からないというのは、ここでスタートができていないということである。だから、分かりやすいスタートができるのは東書であると思う。</p> <p>深く学習するための見方と考え方がどうかというのを探究しようということで、時期や時代の表現の仕方、人物と文化財や出来事の流れ、時代の特色や比較・関連・つながりなどは、東書が分かりやすい。それと地理との兼ね合いである。ここが調査研究では、総合的に見たときに地理が東書、歴史も東書となっているが、特にどうしてもということがなければ、調査研究答申のとおり、東書でよいのではないかと思うがどうか。何か他に意見はないか。</p> |
| 委員（全員） | <p>ない。</p> |
| 教育長 | <p>それでは、総合的に判断して、地理と歴史は「東京書籍」に決定する。続いて公民について、事務局より提案をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>公民の総合所見である。絵図や写真、新聞記事が多く掲載され、生徒の興味・関心を高めることに効果的である。また、課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫において、課題例として「環境エネルギー」「防災・安全」「情報・技術」等、現代社会における重要な視点を設定している。さらに、資料の掲載部分に薄い色を付け、本文と区別できるようにするなど、ユニバーサルデザインに関する配慮が細やかである。以上の理由で、総合的に判断して「東京書籍」が最も適している。</p> |
| 教育長 | <p>事務局の提案について、質問、意見があればお願いします。</p> |
| 神本委員 | <p>私は、日文の単元末の実際の新聞記事からニュースを紐解いていくというのがおもしろいと思った。</p> |
| 教育長 | <p>私は日文と東書で随分悩んだ。日文は、これまでであった課題、見方・考え方について分かりやすく記述があり、見方・考え方を働かせた学習で例も示してあり、また、深めようという確認もしてある。深い学び、という、アクティビティ、あるいはチャレンジというコーナーがあり、デジタルマークによっていろいろ検証もできる。公民の本質的なところの憲法にかかわることや、地方自治につながるためにはどう構成されているのかなと見たときに、例えば日文は、憲法については、国民主権、基本的人権、平和主義という流れで行っている。一方、東京書籍は、平和主義から国民主権、基本的人権という流れで、それがどこへつながるかという今度は参政権につながり、国政や地方自治へつながるという流れからすると東京書籍のほうが非常に整理されていると思った。捉え方のいろいろなところを切り貼りをした時には、いろいろ良さもあると思うが、調査研究にあるような、トータルの考えには賛同もできる面もあった。そのほかどうか。</p> |
| 横山委員 | <p>私は公民という分野は、基本的には現在、自分たちとの関わりの中で学んでいくということが1番大事だと思っている。自分たちと関わりがあることがどうなっているのかというように学んでいく。写真や図で頭に入ってくる今までの地理や歴史と違って、興味をもたせたい。いろいろな題材を通して、自分たちがどのように実際に関わっていきけるのか、例えば、高校では3年生になると、選挙権が生まれてくるが、中学</p> |

| | |
|--------|--|
| 末信委員 | <p>校はそうはいかないため、ここで学んでおかななくてはいけない。興味がなくなってしまってもいけない。日文はいろいろなことを、自分たちの関わりの中で学ばせようとしており非常にいい感触をもった。</p> <p>私は社会参画への意識を高める工夫について注目してみた。例えば、県の選定資料71、72ページにあるが、社会参画への意識を高める工夫、民主政治と政治参加における社会参画を促している具体例では、日文は詳しくていいなと感じた。それから、見ただ目に入れるかどうかという点でも、学習内容と適切な関連付けがなされた絵や図や写真等の資料が日文は大変多いため、参考になると思った。東書か日文か悩んだが、日文のさっき言ったところは注目した。</p> |
| 教育長 | <p>日文の方が、切り口の新聞記事から入るとか、身近な生活問題、そして話題となっていることを取り上げている。答申は東書だが、日文という声が強い。意見を総合的に判断すると、地理と歴史とは違うが、日文ということではよろしいか。</p> |
| 委員（全員） | <p>よい。</p> |
| 教育長 | <p>それでは、公民は「日本文教出版」に決定する。続いて地図について、事務局より提案をお願いする。</p> |
| 事務局 | <p>地図の総合所見である。陸高と水深の色分けの凡例や、土地利用の凡例が各ページに掲載されており、地図を活用する上での着目点が明確に示されている。また地図を活用する上で読図のポイントが示されており学習内容を分かりやすくしている。さらに各所にQRコードがありURLからコンテンツにアクセスでき、より深く学ぶことができる。以上の理由で、総合的に判断して「帝国書院」が最も適している。</p> |
| 教育長 | <p>事務局の提案について、質問、意見があればお願いする。</p> |
| 神本委員 | <p>手に取って扱いやすいと思ったのが帝国書院である。巻末資料の統計等も、帝国書院が、見やすいし配慮もされていると思った。</p> |
| 末信委員 | <p>地図に今までは、色分けはあっても平面的な地図が多かったような気がする。帝国書院は、海の深さについてはあまり触れなかったが、3Dで陸の方はしっかり分かるように書いてありイメージがわく。各国の、あるいは日本もそうだが、見方が変わってくる感じがあり大変すばらしい。それから、帝国書院は日本の大きさや緯度も含めて、ヨーロッパ等の地図にシルエットで映してある。これも参考になる。</p> |
| 横山委員 | <p>特に、大きい国に行ったときに日本は小さいというのは分かるが、ヨーロッパに行くと実は日本は意外に大きいというのがこれでよく分かる。ヨーロッパは小さい国が多いということで、この地図が当たり前だが、地図嫌いの人は興味がわきにくい、帝国は大きく分かりやすい。</p> |
| 教育長 | <p>私は帝国書院が大変良いと思った。最初の世界地図を比べると分かるが、日本の標準子午線がきちんと記入してある。東書はない。時間についても、15度、1時間単位が帝国書院。東書は3時間ごと、それからヨーロッパやアメリカなど、地図の中の日本の位置が、緯度があり、分かりやすくしてある。東書はない。さらに、帝国書院は、南半球を見ても日本の位置がちゃんと明記してある。それから地図活用というコーナーの中でも調べたり考えたりすることも提示がしてある。また日本と世界の位置関係</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>が非常に分かりやすく指導しやすい地図であると思う。また、資料も、地形や気候、工業の水産業などを見たときに、帝国書院は世界との関連の中で整理がされているが、東書の場合は日本のみの資料が多いという傾向がある。人口資料を見たときに、帝国書院は、平成 30 年度版が載っているが、東書は平成 29 年度版であり、1 年ほど新しい。それから、標高の色分けも各ページ有無がある。資料の活用能力を高めるという意味で、地図の活用コーナーに問いが 94 ヶ所 131 問あるのが帝国書院だった。トータルで見ると、まださまざまな観点があるが、地図は帝国書院の方が、使いやすく、非常に分かりやすい。地図は帝国書院ということで決定してよいか。</p> |
| 委員（全員） | よい。 |
| 教育長 | <p>それでは、地図は「帝国書院」に決定する。次に数学について、事務局より提案をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>数学の総合所見である。「東京書籍」では、巻頭で「ノートづくり方」を示しノートの書き方を扱い、その具体例として、単元途中の「数学マイノート」（3 ページ）でノートの工夫の例を示している。章末には章末問題を難易度に分け出題されており、基礎・基本の定着ができるよう工夫されている。また、単元の学習を活用したり、生活の中で活用する問題解決的な問題を多く設定されており、活用力を育成する工夫が充実している。発展的な課題においても、多様な考え方を引き出す設定になっている。「学校図書」では、章末問題だけでなく、途中で「計算力を高めよう」という計算問題のみの練習をさせることで、基礎・基本の定着を図るようにしている。内容の表記では、計算の途中式の解説の工夫をされていることで自主的に学習することができると考えられる。また、内容の構成で、特に第 1 学年の第 1 章で、素因数分解を最後に扱う構成になっていることで小学校からのつなぎに適していると考えられる。以上の理由で、総合的に判断して、「東京書籍」及び「学校図書」の 2 者が適している。</p> |
| 教育長 | 東京書籍及び学校図書、2 者が適しているという提案であった。質問、意見があればお願いします。 |
| 神本委員 | 私は、学校図書がいいと思った。何点かあるが 1 番いいなと思った点は、まず、導入部分の問題が非常に分かりやすい。単元の前に算数の復習が入っており復習できる点がいいと思った。 |
| 教育長 | 事務局へ質問する。庄原市の課題である関数、あるいは図形の問題に例えばどういったところを工夫しているなど、気付きがあれば参考までに聞きたい。特に、全国学力・学習状況調査等々ではいつも関数や図形が問題になっているので。 |
| 事務局 | 前回の改定に比べてどの者も同じような内容で、活用問題等も扱いが増えていて、大きな差はない。細かいところを見ると、教え方の順序が違ったり、問題が違ったりというところはあるが、数学に関しては、大きな差はないと感じている。 |
| 末信委員 | 例えば、正負の数の導入あるいは、文字と式、三平方の定理、証明の仕方、合同等を比べてみたが、東京書籍で、図形のところで、図形の移動から入っている。それがいいのかどうか。混乱を生む感じがした。それから、いろいろな解があり、興味を引くためだろうが、ややこしさやめんどくささを感じる生徒がいるのではないか。その |

| | |
|--------|---|
| 神本委員 | <p>他、自分で考えていくこと等の大切な理由は、証明の仕方も丁寧にしてあったように思う。それから、学校図書の確かめとか、問題が十分に用意してあって、応用や活用がしっかりできるような、理解を定着できるような状況になっている。啓林館は基礎をしっかりと確かめる形になっていたが、今回は、「みんなで学ぼう」と「自分から学ぼう」のページが分けてある。その意図や活用がどうなのか疑問が残った。</p> |
| 教育長 | <p>図形の証明のところで、仮説等を見て証明すると分かりやすいのは、学校図書であると思った。逆に、丁寧過ぎるかと思ったりもしたが、高校数学では証明が多くなっていくことを考えると基本を押さえるという部分では、丁寧過ぎるぐらいの方がいいと思っている。学校図書の図形の証明は、非常に分かりやすく丁寧だと思った。二次関数の放物線の書き方も非常に丁寧に細かく示されているのでいいと思った。丁寧過ぎていけないのかを悩んだが、基礎を押さえる意味では必要であると思った。</p> |
| 神本委員 | <p>私は数研と学校図書、東京書籍が特に印象に残った。いろいろ工夫をされ、先ほどの啓林館の見やすい部分、それから、先ほどあった「みんなで学ぼう」「自分から学ぼう」という独自の構成をして、自ら進んでという工夫をされているところもある。最終的に今の数研、学図、東書を比べた。学図は丁寧であり、一方で発展する問題も多く、いい面が出ていると思う。東書もいろいろな作図のやり方にしても、順序よく分かりやすい方法があり、例えばDマークである動画につまずきやすいところとか深い学びが特集してあるなどの工夫点もあった。数研は、別冊「探究ノート」というのがあり、非常におもしろい。これが、発展させることで力がつく活用であり、自宅でもできるが、逆にプラスされていることで、煩わしく難しく感じる子もいるのではないかという思いもした。解き方も一つのみでなくて複数提示してあるのもおもしろいと思う。ただトータルで言えば学図かなという感じがした。他にはいかがか。</p> |
| 教育長 | <p>数研の「探究ノート」をやってみたが、教科書とリンクしておらず、バラバラ感があり、どうかなと思った。</p> |
| 事務局 | <p>数研の特徴はこれまでと随分違っていたがどうか。</p> <p>最初入ったときには大変難しいというのが第一印象だった。高校の数学は数研の教科書が中心的だった。この度見てみると、やはり中学生が学習するのにやりやすいような表記になっている。他者と比べても大きな違いはなくなっている。以前は問題数が大変多いというような印象があった。その辺のところのベースになるものは、数研出版に残されているというふうには思っている。</p> |
| 教育長 | <p>このような意見もあるが、調査研究なども含め、これまでの意見を総合的に判断して、特に差が余りないというようなことになれば、先ほどの特徴、あるいは特色を踏まえて、学校図書でよろしいか。</p> |
| 委員(全員) | <p>よい。</p> |
| 教育長 | <p>では、数学は「学校図書」に決定する。それでは続いて理科について、事務局より提案をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>理科の総合所見である。言語活動の充実として、多様な対話の方法の例示がされており、主体的に学習に取り組む工夫として、科学的な研究を行うため、探究の過程を</p> |

| | |
|---------------------|---|
| <p>教育長 神本委員</p> | <p>示し活用できる巻末資料等を豊富に掲載している。また、QRコードによる動画等のデジタルコンテンツの参照も可能としている。基礎・基本の定着のために他教科も含めた既習事項が示されるとともに、単元末問題のページ数も多く掲載している。以上の理由で、総合的に判断して「啓林館」が最も適している。</p> <p>事務局の提案について、質問、意見があればお願いします。</p> <p>東京書籍のこの表紙とこの大きさがすごく扱いやすいなというふうに見たが、その内容は、突っ込んで書いて欲しいという部分が少ない。学校図書が非常にいいと思った。何点かある。まず、「学びの足跡」を、単元の前に、今まで学んだことでどれだけ答えられるかを考えさせて、単元後で本人に同じ問いについて、考えさせるということを使っている。これは他の教科書にはない。非常におもしろいと思った。各章ごとにできるようになりたいという目標の設定があり非常に分かりやすい。1年生の初めに、なぜ理科を学ぶのかというのを非常に丁寧に載せてある。各単元の流れもすごくよく、一つ一つがばらばらではない。1年生であれば気付きに注目しましょうとか、2年生であれば計画に注目してやっていきましょうというのを、非常に分かりやすくしてある。この学びをさらに日常に生かしたらということで、さらに深い学びができるように工夫をされていると思った。ただこの教科書は、巻末の単元末問題が少ない。選定委員会の報告には単元末問題のページ数について触れているので、ちょっとひっかかっているが、私は学校図書がよいと思う。</p> |
| <p>立花委員</p> | <p>私も初めは東京書籍が目をついた。あとは、内容で一貫して、やっぱり啓林館だと感じた。3年間統一して、この見出しのところが、生命、地球、物質、エネルギー再編となっており、1年生から3年生までテーマに沿っていてすごく伝わりやすい。文章的にもすごく伝わってくるし、QRコードは多いと言われるかもしれないが、そこはもう今の子供たちなのでいいかなと思う。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>今、学校図書と啓林館という意見が出ているが、例えばイオンが非常に分かりやすく説明してあるのは、教育出版であった。教育出版の3年生50ページ。他と少し違って、易しい表現で書いてある。啓林館は、探究する力を育てるというのが非常によくまとめられている。探究する力のポイントとして、一つが実験ということを挙げている。自分たちで考えさせるために敢えて実験方法が書かれていない。話し合いなどをヒントにして、実験方法を自分たちで探究していくという構成がある。二つ目が探究シートというのがあり、自由に書き込みをする。それから三つ目が探究クラブで、みんなで探究を行うという自由研究や追加研究できるような特徴が啓林館であった。ただ、1点気になるのがQRコードが300以上ある。動画アニメやスライド、音声フラッシュ等の活用方法をめぐっては良さもあるが、これらをどう生かすのかということがあるかと思う。先ほど出ていた学図についても、QRコードに情報がたくさん入っていて、そこに資料や問題があって、単元ごとに入って、全部足して100ページ以上になる。これをまた全部やろうと思えば、どうなるのかということと思う。トータルでは非常に私は難しい感じがした。やってきたことを章末でQRコードを使って確認問題ができ、自己チェックできるようになっているため、自分でやる子は進んででき</p> |

| | |
|---------------|--|
| 末信委員 | <p>るが、苦手な子にとってはどうかなというのが学図であると思った。それから、教育出版は、疑問から始まって、課題、仮説、そして、観察実験、考察結論という進め方が非常にわかりやすく工夫してあると思った。学びのリンクは 65 か所ある。また、要点と用語の整理もきちんとできているという点で非常に使いやすいと思った。大日本は、理科が好きになるような写真や見開きにダイナミックなものが用意してあり、教科書を見たとき、理科っていいなと思う特徴があると感じた。そしてもう一つ付け加えると、啓林館は、いわゆる課題発見学習などで行うパフォーマンス課題が載っている。また、共通してほとんどの者が i P S 細胞の山中先生を取り上げている。</p> |
| 末信委員 | <p>啓林館は、図や写真に分かりやすい説明がある。理解しやすく写真もきれいで、高等学校の学習へのつながりを紹介してあるのもよい。他と違うのは、生物分野を全学年最初にもってきていること。1年生の生物分野は、どうしても最初にしないと季節的に合わないのが最初にある。2年生になってもやはり、季節的な関係があるのではないかという気がして、啓林館のやり方がよい。東京書籍はサイズが縦長で、持ち運びする時に他の教科書とどうか、使い勝手はどうかと思う。確かに長いだけ、中身が連続的になっている部分もあったように思うが。これも高等学校での学習にどうつながるかを示してあった。それから、教育出版では理科としてのポイントを専門的な観点から導入している感じがする。日常生活の中から気付きを出して学習に入るのではなく、理科的に、いろいろな現象について、ポイントポイントを押さえてより専門的な観点で示している。難しいかもしれないが、理科の力をつけるという点でいうと、悪くないと思う。大日本は、サイズが小さかった。小さいだけ、いろいろ中身について、小さくなったり制約があったりしている気がした。学校図書は、中身がよかったが、全体的に色が薄い教科書である。印象的に少し落ちつきは感じるが読みにくい気がした。</p> |
| 横山委員 | <p>啓林館が図と写真が入ってきやすく、まとめや力試しがふんだんにあり、すごくとつきやすいのではないかなと感じた。</p> |
| 末信委員 | <p>先生方がどれだけ編纂に関わっているかというところで、啓林館 42 人、学図は 3 人、教育出版が 6 人、東京書籍は 63 人、大日本 27 人であり、東京書籍や啓林館では、小中高の校長、教頭あるいは教諭が多く携わっている。教育出版は 6 人で、あとは大学の先生方が多いということで、理科的な専門的な内容となっていると感じた。</p> |
| 教育長 委員(全員) | <p>その他意見等はないか。 ない。</p> |
| 教育長 委員(全員) | <p>それでは、総合的に啓林館ということでよろしいか。 よい。</p> |
| 教育長 | <p>それでは、理科は「啓林館」に決定する。続いて、音楽(一般)について、事務局より提案をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>音楽(一般)の総合所見である。教材の左ページに音楽を形づくっている要素が掲載されており、学習のポイントが明確である。音楽と生活の関わりについて、音楽を学ぶ意義や表現者からのメッセージが掲載されており、生徒に興味・関心をもたせ、</p> |

| | |
|---------------------|--|
| <p>教育長 末信委員</p> | <p>主体的な学びへとつなげることができる。また、郷土音楽の学習など、3学年を通して系統的に学習を深めていく工夫をしている。以上の理由で、総合的に判断して「教育芸術社」が最も適している。</p> <p>事務局の提案について、質問、意見があればお願いします。</p> <p>一般と器楽が一緒の出版社がいいのかどうかというのもあると思う。教育出版は器楽に林英哲さんが載っている。教芸は壬生の花田植えが紹介されている。また、教出は表紙を開いてぱっと目に入る写真で、歌の風景を見る中で感性を育てていく雰囲気が出ていた感じがした。教芸は各ポイントの歌に写真や図でイメージできるようにも示しており、こちらも感性を磨いていくという意識を感じた。歌に合わせた写真が大変きれいである。また、合唱曲や歌が多く紹介されているというのも印象に残った。それから、最初に音楽にかかわる人の思いなどが載っている。ただ歌うだけでなく、音楽的な知識などを大事にしている教科書だと思った。そっちが強過ぎると生徒にとってはちょっとおもしろくないとなるかもしれないが、音楽的な基礎・基本は大事にする必要があると思っている。どちらかと言うと教芸かなと思っている。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>私も教芸だと思った。ただ一点思うことは、教育出版は器楽で林英哲さんが出てくる。これをどうしても何とか入れたいという思いもあるが、それだけで決められない。トータルで見たときには、太鼓の授業の時には林英哲さんの写真をもってくればいい、という解釈をした上で、教芸がよいと思った。教芸は、表紙や巻頭に有名人、音楽との関わりについて、野村萬斎、松任谷由実、谷川俊太郎等々を載せ、とっつきやすくしていたり、最初に、音楽って何だろうという本質を考えるきっかけづくりがある。1年は、世界をつなぐ、2・3年上には、目に見えない芸術で、石や岩の写真を提示したり、2・3年下には、声や音にのせてとしてマリア・カラスの写真を示している。そして、生活や社会の中の音楽ということで、1年が音や音楽の果たす役割、2・3年上では、音楽体験を拓くアウトリーチ、2・3年下は仕事と音楽というような、生活社会との関連を載せている。そして、2・3年下には敦盛さんも載っている。また、学習のポイントやヒントが明確であり、振り返りもできるのも教芸の方ではないかと思った。ただ国歌のところでは、スポーツの写真しか載せていない。国歌を歌うところは儀式的行事をはじめ、もっといろんなところでも歌うのだというのがあればよい。教芸はここでいつもスポーツを出している。教育出版は、さざれ石のみである。こちらももう少し工夫があればいいと思った。教育出版はカチツとしておもしろみがあまりない印象だった。歌唱と鑑賞を見たときに、教育出版はずっと比較する学習で進めている。例えば、夏の思い出と赤とんぼを比べ、旋律の違い、表現の工夫で発声と技能を身に付けるというやり方をしている。鑑賞も比べることを重視して、曲の構成を知り、おもしろさを知っていくものだった。何かと何かを比べて、違いを見出して、そこを学ばせる手法が教育出版はずっと流れているというふうに思った。それで、どうもカチカチしているような感じがして、伸び伸び豊かな感性を求める教芸のほうがいいのではないかと思った。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>音楽（一般）と音楽（器楽合奏）は、同じ出版社の方がよいのか。</p> |

| | |
|--------|---|
| 事務局 | 選定委員会の報告では、同じ方がよいと聞いている。 |
| 教育長 | 他に何か意見はないか。 |
| 委員（全員） | ない。 |
| 教育長 | それでは音楽（一般）は、提案のとおり、「教育芸術社」ということでよろしいか。 |
| 委員（全員） | よい。 |
| 教育長 | それでは、音楽（一般）は、「教育芸術社」に決定する。続いて音楽（器楽合奏）について、事務局より提案をお願いします。 |
| 事務局 | 音楽（器楽演奏）の総合所見である。三つの資質・能力の育成を意識した学習を進めることができる。和楽器の合奏に取り組んでいる中学生の様子を紹介するなどし、主体的に学習に取り組めるようにしている。また、学習内容に即した音楽を形づくっている要素についても示しており、演奏時のポイントが明確である。以上の理由で、総合的に判断して「教育芸術社」が最も適している。 |
| 教育長 | 事務局の提案について、質問、意見があればお願いします。 |
| 教育長 | 教育出版は先ほど言った林英哲さんが載っている。何としてもこれは取り上げたいなと思いつつも、先ほどの音楽（一般）との関係もあるが、教育芸術社にも、演奏家の写真、音楽って何だろう～楽器と人～など、さまざまな事柄の中で、楽器を使う、あるいは、鑑賞する楽しさを出している。提案にある教育芸術社の方がよいと思っている。 |
| 委員（全員） | 何か他に意見はないか。 |
| 教育長 | ない。 |
| 教育長 | それでは、音楽（器楽合奏）は、音楽（一般）との関連も含めて、「教育芸術社」に決定する。続いて、美術について、事務局より提案をお願いします。 |
| 事務局 | 美術の総合所見である。トレーシングペーパーや和紙のような風合いのページ、作品の大きさを実感できるページなど、生徒の興味・関心を高める工夫がある。また、表現の活動では、発想や構想のヒントを示したり、みんなの工夫として実際に中学生がどのように考えて作品を作ったのかを写真で細かく提示したりしている。また、オリンピックなどの身近なマークを調べてデザインと社会のつながりを考える活動を設定し、生徒が主体的に取り組む工夫をしている。以上の理由で、総合的に判断して「光村図書」が最も適している。 |
| 教育長 | 事務局の提案について、質問、意見があればお願いします。 |
| 神本委員 | 私は日文がいいと思った。光村は作品の大きさを実感できるページが多いとあるが、日文も多いと思った。ゲルニカの作品を出したとき、日文は実物の生徒と比較して、これだけ大きさが違うという表現をしているのがすごくおもしろいと思う。文字のデザインのところも、日文はいろいろな作品を多く扱っていておもしろいなと思ったし、3年間を通しての学びの過程の表記も、分かりやすくして日文がいいと思った。 |
| 教育長 | 開隆堂と光村は2冊で、日文は3冊である。ここにまず、資料の多い少ないの差が出てくる面がある。開隆堂から見てみると、絵や彫刻で学ぶことやデザインや工芸で学ぶこと、鑑賞などバランスよく作品が紹介されているが、1年の鑑賞教材が少ない。 |

| | |
|-------------|--|
| | <p>それから、国際性と郷土愛ということで、日本らしさが充実している鑑賞部分が2年3年に整っている。原寸や部分拡大もある。解説資料も整っている。QRコードも工夫もされており動画もあった。日文は、1年から3年、3冊あり、美術の世界へようこそという3年間の成長、学びの目標もある。造形的な視点もある。鑑賞ののところを見ると、屏風、立体的に折り曲げる工夫もあった。特に、浮世絵の葛飾北斎のこの波の部分の色彩は本物というところもあり、印刷技術がすごいなというところがある。QRコードを見てみると、立体的に回転させるようなこともあった。それから、美術を友として、卒業時に振り返るといような工夫もある。ただ1点、量が多く、あれもこれもというごちゃごちゃ感があるという感じが否めない。光村は、「美術室で生まれた教科書」がキャッチフレーズで、生徒の立場で作品や考え方を工夫して表現してあり、これをずっと貫いている。授業を中心に、見える、深まる、広がる、という生徒の視点が必ず入っている。みんなの工夫というところで、生徒の制作過程を見せる工夫が盛り込まれている。鑑賞の面を見ると、トレーシングペーパーがある、透視法など表現の工夫がある。それと葛飾北斎は、色は日文にはかなわないが、優れている点はゴッホと関連付けをしている点である。これは日文にはない。北斎からゴッホにつなげて、考えることができる工夫がある。また、紙面構成は、表現、鑑賞という流れを繰り返すことで見通しがもてるという工夫がある。日文にもよい資料があるが、生徒の視点で子供が考えやすいという点で見たときには光村がいいのではないかと思う。実際3冊をこなす時間がどうかというのもある。</p> |
| 末信委員 | <p>光村は、授業が見える、深まる、広がるをポイントに編集されており、授業を取材して構成を考えている。開隆堂は、理論と実践のバランスを取り入れた、教えやすく学びやすい教科書である。日文は、授業を考えぬいた教科書、生徒自らが学びたいという教科書、生活や社会に生きる教科書となっている。これもやはり、生徒の作品や、現場に行き、いろいろ研究したり協力してもらって作った教科書のようなものである。私は光村の巻頭にある「美しい」これはおもしろいなと思った。日文の巻頭表紙裏面の写真も印象的だった。</p> |
| 神本委員 | <p>日文は凄く作品がきれいで惹かれたというのが大きい。日文は表紙の絵から引き付けられた。</p> |
| 立花委員 教育長 | <p>私は開隆堂だった。 感性を磨く教科なので、色々な意見がある。もう少し意見があれば願います。</p> |
| 立花委員 | <p>光村は実物との見せ方などよくできていると思った。今の子供たちには適しているのではないか。</p> |
| 教育長 事務局 | <p>事務局から何か補足説明等があるか。 選定委員からは、授業時数の関係で日文の3冊という分量がどうだろうかという声はあった。ただ、日文は原寸大のものだったり色がきれいだったりするので捨てがたいというような声もあった。</p> |
| 横山委員 教育長 | <p>風神雷神図の見せ方など光村はよいと思った。 それでは総合的に判断して、美術は「光村図書」ということでよろしいか。</p> |

| | |
|--------|--|
| 委員（全員） | よい。 |
| 教育長 | それでは、美術は「光村図書」に決定する。次に保健体育について、事務局より提案をお願いします。 |
| 事務局 | 保健体育の総合所見である。生徒が学習の見通しをもてるよう、本時の目標が明示されており、各小単元の課題解決するための活動や内容も掲載されている。キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えるものとなっており、自ら取り組める構成となっている。また、学年ごとに保健編、体育編の順番で内容が整理されている。生徒が意欲的に学習に取り組めるような写真や言葉も多く掲載されている。さらには、章末に自分で調べ、考えをまとめて書くことができる資料が掲載されており、言語活動の充実を図ることができる。以上の理由で、総合的に判断して「東京書籍」が最も適している。 |
| 教育長 | 事務局の提案について、質問、意見があればお願いします。 |
| 末信委員 | 東京オリンピックについてどのように扱っているかというのを見たところ、東書は、東京オリンピックにボランティアで参加を希望する理由というアンケートを載せている。学研はオリンピックが開かれることを前提として書いてある。大修館も開催が決定されていると表現してある。これは今後修正するのか。また、来年も実施できなくなったときは変えていくのか。正確に言うと現状では正しくない。その点が気になった。東書は、課題を見つけて、学習課題を設定する。課題解決のために、どのようにしていくか資料を使って話し合いをしたり発表したりして、広げていく構成で、自分の生活に生かしていこうという流れがあってよかった。1番ひっかかったのは、オリンピックの記載である。 |
| 教育長 | ここは修正があるのではないかと思うが分からない。他にはどうか。 |
| 神本委員 | 私も東書がいいなと思った。学習の流れが、見つける、課題の解決、広げるという3段階になっている。がん予防の資料もよい。AEDを扱う部分もイラストや写真がすごくわかりやすかった。スペイン風邪のことも取り扱われており、今のコロナに通じるものも含まれていると思った。総合的に判断した東京書籍と思った。 |
| 教育長 | 私は学研がいいと思った。保健体育は保健分野と体育分野があるため、その両方を見て、総合的に判断する必要があると思う。体育編から保健編という学習の流れが、大日本、学研、大修館である。東書だけが保健編からというタイプになっている。体育でいうと、大修館は昔から体育の専門的な図書であり、色々な面で優れた面があった。例えばスポーツ障害など非常に詳しく出ている。最後の写真も人骨の写真に神経が載っているのは大修館だけだった。大日本は、剣道が載っている。これはなかなかない。一方保健の方を見たときには、東書はオールマイティー的に満遍なくきちんとまとめている。学研は、学年別の構成であり、課題をつかむ本文、考える、調べる、まとめるというような構成で、探究コーナーもあって非常によくできている。また、悩みなど相談しにくい性の問題、いじめの問題がきちんと取り上げてある。がんも1時間とってある。性の多様性では、LGBT、それから、SOGIの言葉も出ている。ユニバーサルデザインにも配慮してある。感染症も、ここだけ唯一、新興感染症とい |

| | |
|--------|--|
| | <p>う言葉を使っていた。これはいわゆる新型コロナウイルスのことも含まれると考える。最後に自分たちの生活はどうしていますかと問うているのが、学研である。一方東書も工夫があり、4ステップの構成、見つける、課題、課題の解決、広げるとなっている。見開きの2ページが1単位になっており、非常に見やすいという特徴があると思った。それから、今日的な教育課題への対応についてはSDGs、性の問題、人と人をつなぐスポーツの問題等を扱っている。いろいろ比較したときには、学研の方がいいかなと思いを持った。その他、大日本の特徴は、これは、紙面が1時間見開き2ページで、左側が、いわゆる本文で、右側が資料で大変分かりやすい構成となっており、勉強しやすいようになっていた。スマホも大きく取り上げているのが大日本であるかなと思った。その他何か意見はないか。</p> |
| 委員（全員） | ない。 |
| 教育長 | それでは、総合的に判断して、「東京書籍」でよろしいか。 |
| 委員（全員） | よい。 |
| 教育長 | それでは、保健体育は「東京書籍」に決定する。続いて、技術・家庭の技術分野について、事務局より提案をお願いします。 |
| 事務局 | 技術の総合所見である。各学習項目を学ぶにあたって、「考えてみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「やってみよう」など課題に対する活動が明確になっているため、主体的に学習できるよう工夫されている。また、実践的・体験的な学習の具体例を多く扱っており、情報に関しては、時代に沿った内容が組み込まれている。内容の表記では、小学校との関連が明確になるよう工夫されている。以上の理由で、総合的に判断して「開隆堂」が最も適している。 |
| 教育長 | 事務局の提案について、質問、意見があればお願いします。 |
| 教育長 | 3者あるが、教育図書はハンドブックもついている。詳しくて分かりやすいというような工夫もあった。例えば1番目の材料と加工の技術であれば、木材、金属、プラスチックの弁当箱を例示し、非常に分かりやすいものから始まっている。本立てのタイプも4つを提示して身近なものを用意している。2番目の生産育成技術では、養豚のことにも触れている。養豚についてはここだけだった。3番目のエネルギー変換の技術では Society5.0 を取り扱っている。コンピュータのこと、プログラミングのことなどをきちんと整理してあって、最後に夢をかなえる技術として整理している。これはあとの2者にはない。東京書籍は、そつなくまとめてあり、巻末にプログラミング手帳というのがある。あとは特に内容は変わらないが、エネルギー変換の技術として車、新幹線などを取り上げていた。プログラミングは最後に手帳として特集しているというのが大きい。開隆堂は、巻末に伝統工芸がまとめてあった。情報技術のところではスマート治療というものを取り上げているのが特徴だと思う。私は開隆堂よりも東書のほうがいいのではないかなと思った。他の委員はいかがか。 |
| 末信委員 | 技術と家庭は同じ出版社がいいのか。 |
| 事務局 | 庄原市は今も別々のものを使っている。 |
| 末信委員 | 東京書籍は、実践的、体験的な具体例が多いという感じがした。実際に作ったりす |

| | |
|--------|---|
| 神本委員 | <p>る場面がわかりやすく示してある。それから巻頭、巻末の中身もよいと思った。</p> <p>私も東京書籍がいいと思った。作業が大きく写真に載っていて分かりやすい。めあてだけでなく、問題の発見、課題の設定も載っている。栽培カレンダーもよいと思った。</p> |
| 教育長 | <p>私も栽培カレンダーはいいと思った。タイトルも東京書籍は「テクノロジーの世界」、開隆堂は「技術はいつも私たちの側に」であり、どちらがいいかなと思った。他に意見等はないか。</p> |
| 末信委員 | <p>開隆堂は写真も大きく分かりやすい。豆知識の部分に興味深い内容もあった。教育図書は技術ハンドブックがあり、まとめてあるといろいろなところで使いやすいという点はあるが、実際作業するときは、教科書を見ながら作業をするのであれば、ハンドブックは使いにくいのではないかと思う。</p> |
| 教育長 | <p>それでは、総合的に判断して「東京書籍」ということでよろしいか。</p> |
| 委員（全員） | <p>よい。</p> |
| 教育長 | <p>それでは、技術は「東京書籍」に決定する。続いて、家庭分野について、事務局より提案をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>家庭の総合所見である。基礎・基本の定着を図るための工夫として、デジタルコンテンツから学習内容を確認することができる工夫とともに、主体的に学習に取り組めるようガイダンスを 12 ページ設定し、マークやイラストにより見方・考え方を意識できるようにしてある。また、内容の表現・表記において、「リンク」マークにより各教科と関連させて学習ができる。デジタルコンテンツも充実している。言語活動の充実においては、学習をガイドするマークを示し、学習活動を明確にしている。以上の理由で、総合的に判断して「開隆堂」が最も適している。</p> |
| 教育長 | <p>事務局の提案について、質問、意見があればお願いします。</p> |
| 末信委員 | <p>料理する若者が少なくなっているということを知った。その点で言うと、東京書籍は調理実習や布を用いた製作など、実践的・体験的な中身が多く示してある。開隆堂は肉じゃががないのが残念であった。これは、昔から母親の味と言われたりするので、はずされた理由がちょっとよく分からない。東京書籍は巻頭にある教科書の構成についてやガイダンスなどが分かりやすく示してあった。さらに東京書籍が発展的な学習の具体例として示している、ユニバーサルデザイン～みんなが暮らしやすい社会を目指して～の学習内容がよかった。</p> |
| 神本委員 | <p>私も東京書籍がいいと思った。手ばかりを写真で示しているのはとてもおもしろい。1日に摂ったらしい野菜の量を示すのがおもしろいなどと思った。そして、食品の切り方と包丁の持ち方も丁寧に分かりやすく説明されている。実習例のところが分かりやすい。さらにその下に、他の組み合わせの副菜の作り方を載せてあり、とてもいいなどと思った。ミシンの使い方のところも非常に分かりやすく示しており、実習をたくさん載せてある点は非常に良いなどと思った。</p> |
| 教育長 | <p>ページは全者 290 から 300 ページだが、1 番ページ数が多い開隆堂が 1 番軽い。開隆堂は 566 グラム、東京書籍が 607 グラム、教育図書は 635 グラムであった。ページ</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>数がほとんど同じ中、開隆堂が一番軽い。それだけ軽くしようという努力をされているが、紙の質が悪くなって、料理の食材色が悪い。食欲と結びつくかと考えたとき、同じ肉でも見栄えが東京書籍の色がいい。ほんのちょっとの違いだが、同じように比べたときに、子供がどう感じるかを考えれば、東京書籍の方がいいではというのが最初の印象である。それから、構成が、開隆堂と教育図書は家族・家庭生活から入っている。衣食住の順である。ところが東京書籍は食生活から入り、最後に、家族・家庭と地域となってくる。子供がどっちかとおつきやすいかなといったときに、食事の方かなと思ひ、東京書籍がよいと思つた。開隆堂は見開きが1時間になっておりコンパクトにまとめてある。流れが分かりやすく、学びを深める工夫も整理されている。ただ例えば食事で見ると、開隆堂は料理が焼く、煮る、蒸すしかない。焼くが4品、煮るが8品、蒸すが1品。一方東京書籍は炒める、ゆでる、蒸す、焼く、煮るがある。21品。教育図書はそれにプラスして、レンジがある。それから、子供がとおつきやすいお菓子作りを見たときには、開隆堂がたくさんあつた。東京書籍は幼児との関わりの中でお菓子づくりに触れていた。また、朝食作りが東京書籍にきちんとある。それから、衣生活のところを見たとき、開隆堂は製作7作品、東京書籍は11作品、教育図書は7作品であつた。それと、弁当作りについて、主食3、主菜1、副菜2という弁当の比が東京書籍、教育図書にはきちんと出ていた。また、東京書籍には先輩からのエールが書かれていたり、家族・家庭で幼児生活の写真が多かつた。これらの理由で東京書籍だと思つた。それと、住のところで、家庭の中の事故がどれだけあるかが書いてあつた。教育図書は事故しやすい所が50カ所もある見取り図があり、例えば風呂場で転びやすいなど載っている。ところが、東京書籍は、危険探しのヒントとポイントを示し、自分で考えるようになっている。このような面もあり、東京書籍の方がいいと思ふ。他に意見はあるか。</p> |
| 委員（全員） | ない。 |
| 教育長 | それでは、開隆堂が提案されているが、「東京書籍」ということでよろしいか。 |
| 委員（全員） | よい。 |
| 教育長 | それでは、家庭は「東京書籍」で決定する。続いて、英語について、事務局より提案をお願いする。 |
| 事務局 | 英語の総合所見である。新出文法を導入する際、新学習指導要領において重視されているコミュニケーションの目的・場面・状況について、漫画を使い分かりやすく提示している。また、やり取りから書く活動へつなげる小学校外国語科との関連や、各PROGRAMの中に、Retell や Interact など言語活動を充実させる工夫が見られる。そして、各単元で学んだことを Our Project で技能統合的に活用させ、思考力、表現力を高めることができる。以上の理由で、総合的に判断して「開隆堂」が最も適している。 |
| 教育長 | 事務局の提案について、質問、意見があればお願いする。 |
| 立花委員 | 私は三省堂が文法の違いとかとても説明が分かりやすく書いてあつていいと思つた。三省堂は難易度で言うと難しいのか。 |

| | |
|------|--|
| 事務局 | 選定委員会の報告では、三省堂と教育出版は少し難易度が高い。東書と開隆堂はスタンダードという報告があった。 |
| 教育長 | 三省堂には最初から難しい場面もあった。英語辞書は三省堂が多かったから、いいなと思う面もあるが、中身を見たときにそういう捉えもある。 |
| 神本委員 | 正直、どの教科書か選べなかった。ただ東京書籍の Can-Do リストが非常に分かりやすいと思った。教える先生も学ぶ生徒も目標が明確になってよいのではないかと思った。特に1年生では40語程度、2年生60語程度、3年生80語程度で書いて表現できるようになるというような数値目標を表しているの、どれだけ力をつけないといけないのかという目標がはっきりしていて分かりやすいと思った。あと、東書は、辞書の引き方を丁寧に載せてあるのがいいと思う。 |
| 教育長 | 他にどうか。事務局から補足があるか。 |
| 事務局 | 先ほど神本委員が言われた小学校とのつながりというところでは、東京書籍は、小学校と同じような字体を使って、1年生でスムーズにつなげるように工夫している。小学校での活動をそのまま中学校でもつなげていく点がとても優れているという報告を聞いている。あとは教科書の版が少し大きい。これがどうであるかというところがあったり、小中連携の充実というよさもあるが、活動が多すぎてシンプルではないというようなところがあると聞いている。ただ、単元の終わりに学んだことを話そうなどの活動も大変充実していてよさもある。 |
| 教育長 | 開隆堂の特徴のいいところは、場面設定から入って、それから本文、文法という流れがあって非常に分かりやすい。リテリング（再話）の活動もよく考えている。それから、開隆堂はスモールトークの工夫がよくできていて、自分がやってみたいと思える言語活動が多い。東書は場面設定を聞かせるというところから入っている。その辺りの違いがあるのではないかと思う。 |
| 事務局 | 実際どのような場面で英語を使うのかというようなところが開隆堂では漫画で示されており、実際の場面を大事にして指導するというようなやり方になっているというところが開隆堂のよさだという報告があった。 |
| 教育長 | 他に何か意見はないか。 |
| 横山委員 | 県の選定資料によると、東書がいわゆる日常生活の場面設定が1番多い。これはどういうことなのか。会話の勉強にもっていきやすいということなのか。少ないところで教育出版は4しかない。 |
| 教育長 | 確かに数で見ると差がある。日常生活の場面設定とは、具体的にどういうことを指すのか。 |
| 事務局 | 東京書籍は、細かく場面を設定し、ハンバーガーショップへ行こう、道案内しようのように小単元のような形でたくさんの場面を紹介している。しかし中には、旅先からの絵葉書、ラジオDJのトークなど日常といえるかどうか難しい単元も含まれている。東書の数は多いが、他の教科書でも単元の中で触れているところもたくさんある。 |
| 教育長 | 東書は小単元でつかませる内容が多く、活動が多すぎてまとまらないということか。一方開隆堂は、単元の中でしっかりと4技能を育成していくということではどうか。 |

| | |
|-----------------------|--|
| 事務局 横山委員 | <p>そうである。</p> <p>開隆堂の場合には、目的ごとに単元の中で会話が設定されている。数が多くあればよいというものでもないことも分かった。</p> |
| 事務局 | <p>答申にあるとおり、開隆堂の一番の特徴は、英語が使われる場面が漫画の形で示されており、どんな場面で使うのかということが重要視されていることである。ここで日常生活の場面が出てくる。これが3年間続けて掲載されている。子供たちがどのような場面で使う表現なのか理解しやすいということである。</p> |
| 教育長 事務局 | <p>東書はどうなのか。</p> <p>東書は、1年生は同じように漫画のような場面設定があるが、2・3年生になると、場面の写真が載っていて、聞くことを通して、こういう場面で使うというのをつかませる。文字は出てこない。</p> |
| 横山委員 教育長 委員（全員） | <p>文字がある方が分かりやすいのではないかと思う。</p> <p>他に何か意見等はないか。</p> <p>ない。</p> |
| 教育長 委員（全員） | <p>それでは、提案のあった開隆堂ということによろしいか。</p> <p>よい。</p> |
| 教育長 事務局 | <p>それでは、英語は「開隆堂」に決定する。最後に道徳について、事務局より提案をお願いします。</p> <p>道徳の総合所見である。「東京書籍」は、近年生起した自然災害をもとに考えを深めることができる資料やソーシャルネットワークサービス（SNS）をめぐる問題など現代的な課題等をもとにした資料があり、生徒が自らの問題として捉え、考えることができる。また、漫画やイラストなどが効果的に活用されており、生徒にとって親しみやすく、考えたいような構成になっている。さらに、広島にゆかりのある資料もある。生徒が心の動きを書いたり、表現したりするための工夫として、つぶやきを書く欄やみんなの意見を書く欄、ホワイトボードとして活用できるページや心情円などが設定されている。「廣 あかつき」は、これまで道徳教材として長く読み継がれてきた名作や心に染み入る物語が数多く取り上げられている。このことは、各者に取り上げられている共通教材が最も多いことから分かる。道徳科の学び方については、「さまざまな答えがある」「よさや問題点を見つけ、考える」「ともに考え、話し合う」「自分を見つめ、考える」「書くことで、考えを深める」の5つの学び方を示している。また、問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「考える・話し合う」のコーナーを設けている。さらに、別冊「中学生の道徳ノート」は、学習の記録や自己評価など学習の振り返りが工夫されている。以上の理由で、総合的に判断して、「東京書籍」及び「廣 あかつき」の2者が適している。</p> |
| 教育長 立花委員 | <p>事務局からは2者について提案があった。質問、意見があればお願いします。</p> <p>東書には別冊はないが、あかつきには別冊がある。あれが、良し悪しというか現場で活用されているかどうかというところが、今までのことを振り返ってみてどうなのだろうか。作品はいい作品がのっていると思う。別冊があかつきのネックになるとこ</p> |

| | |
|------|--|
| 事務局 | <p>ろかもしれない。</p> <p>別冊については、今までだと1時間の授業の中で活用する難しさがあつたというような声も調査員からあつたということだったが、今回内容が少し簡略化されて、使いやすくなっているのではないかというような報告があつた。実際、今までのところでは、なかなか毎時間活用という状況にはなっていない。</p> |
| 教育長 | <p>これは以前もあつたが、別冊があるのが日文とあかつきである。あとはない。活用がなかなか難しい面もこれまであつたのではないかと思う。しかし、今回のあかつきは自由に書けるような別冊になっていたかと思う。</p> |
| 末信委員 | <p>あかつきは教材が大変すばらしいものがたくさんあると思うが、ちょっと気になるのは別冊であつた。確かに、これについて書きなさいではなくスペースだけ用意してあるが、昨年度、教育研究会等に行つて、それを活用している授業はなかつた。その代わりに、先生が作ったプリントを使ってそこへ書き込んでいる状況があつた。別冊はどんなのかなというものもあるし、文章が割と長い、多い。教材が35あつて、別冊のところへ読むところが23ある。ゆっくり読めば大変参考になるが、それを1時間の授業で、1つのテーマをやるときに、議論する道德の授業になるのかどうかちょっと心配である。教材は大変すばらしいと思うが、授業としてしんどいところがあるのではないかという気がした。それから教材数でいうと、光村は31+付録4、それから、教育出版が30+補充として5。東京書籍は28+付録7、学研35、日文35である。別の投げ入れ教材というのもあるとは思いますが、果たしてそれはどんなのかと思う。</p> |
| 横山委員 | <p>前回道徳の選定をしたときのことを思い出してみると、あかつきにした理由として別冊があるというのが大きなポイントだつたと思う。なぜ別冊が大きなポイントになったのかを思い返してみると、全ての先生が道德の授業をしないといけなくなる、そうすると道德の授業にたけた先生と、ちょっと苦手な先生も同じようなレベルの授業をしていかなければならない。そうしたときに副教材があるほうがよいのではないかという思いがあつたと思う。結果的に、別冊が実は使われていなかったということはあるかもしれないが、使い方も含めて、裁量に任せるということは、ありなのではないかなと私は思う。ここで変えてしまうのか、もう1回あかつきを採択して、ということにするほうがいいのか。私はこのまま引き続いてがよいと思う。</p> |
| 神本委員 | <p>「2通の手紙」という各者共通している教材で見比べたときに、あかつきは発問内容がすごくいいなと思つたが、少し項目が多過ぎた印象もある。それと、先ほどから出ているが、文章ばかりなので、思春期の子供たちにとって、しんどいんじゃないかなというのがあつた。途中漫画であつたり、ちょっと視点を変えた教材があつた方がいいのかなというのを思つた。それで悩んだが、今回ちょっと大きく変えた方がいいのかなという気はした。</p> |
| 立花委員 | <p>私は単元が足りないところがあるが、光村もよいと思つた。あかつきはいい文章がたくさん載つており、私はよいと思つたが、今の子供たちの視点から考えたら少ししんどいかなと感じた。今回は、選定委員会より別冊がついているものと、ついていないものが挙げられているので、どちらかといえば、私は東書かなと思つている。</p> |

| | |
|-------------|--|
| <p>教育長</p> | <p>私は今回の別冊があるというのは、これは自由に使えばいいというような裁量だと思っている。何よりも道徳は教材に尽きる。極端に言えば指導力が物足りない先生であったとしても、その教材に感動して、心揺さぶられて、その次に学んだことをどう実践に生かすかというのが、道徳の値打ちのところの部分が大きな要素を占めるので、やはり教材がよくないといけないというのがある。その点から見たときは、やはりあかつきだと思う。例えば1年の「語りかける目」、この教材は心が揺さぶられ考えさせられるいい教材である。これを取り上げているのは、あかつきと教育出版の2者だけだ。教材の一覧を作ってみたが、考え、悩み、感動するいい教材が多いのはあかつきだと思った。確かに別冊についてはいろいろな意見もあるが、これは自由に使えばいいというスタンスでいいのではないか。それから、光村は教材が31しかない。これはやはり35なければいけないと思う。付録が4ついており、それで35にしている。これは会社の方針だと思うが、それぐらいでしか扱わなくていいというスタンスなのかと感じる。同じように、末信委員が言われたが、教育出版も30+補充学習5、東京書籍は28と付録5+2で全部で35である。それと、教育出版も東京書籍も、いじめの題材を漫画で出している。これはみんなが気軽に考えるという考えもあるがと思うが、真剣に考えないといけないいじめについて漫画というのがどうなのかなという思いがした。ここが東京書籍を押せない。教育出版を押せない。その他広島ゆかりのある教材があるからいいなどもあるが、要は、何よりも、どんな教材を選んでいるかということを中心に選ぶべきでないかと考える。学研は新しくユニット学習を出している。複数の教材でやっていく。これは新しい特徴だと思う。総合的に考えたときに、やっぱり私はいい教材がたくさんある、あかつきだと思う。</p> |
| <p>立花委員</p> | <p>いじめ場面が漫画で出ている件については、当事者が教室にいる場合がある。そういうときに、文章だけだったら、本人にとってすごくしんどい場合があるのではないかと思う。だからかえて漫画が入っている方がいいんじゃないかと私は思った。私も子供たちの前でこういった本を読めない時がある。いろいろな考え方があると思うが、そういうところもあると思う。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>漫画が軽く受けとめられるという私の先入観があって、漫画程度というようなことになってはいけないという思いがあった。いじめというのはそんな軽いものじゃないという意識があり、行間も含めて読むのが、道徳だと思う。そこは指導者の力量にも関わってくる場所である。</p> |
| <p>末信委員</p> | <p>共通教材の「2通の手紙」で比較すると、考えさせるポイントとして2通りあった。元さんの心情がどうなのか、どういう思いで動物園に入れたのか、あるいは、処分を受けて辞めることを決めたがそのときの気持ちはどうなのか、元さんの思いに焦点を当てて考えさせていたものがあつた。それから、そうは言いながら、決まりに従って処分を受けているので、決まりの意味、決まりはどうあるべきなのか、自分の生活にどう反映していけばいいのかというような、決まりについて焦点を当てたものがあつた。まだこの教科書がよかったというところまではいっていないが違いがあるなと感じた。</p> |

| | |
|-------------|---|
| 教育長 | <p>前回採択でも話題としたが、同じ内容でもタイトルや文章の表現が少し違うものがあり、あかつきの場合、「元さん」をつけるなど工夫をしている。この教材もとても考えさせられるいい教材である。</p> |
| 末信委員 教育長 | <p>たしかにあかつきは教科書を読むだけでもかなり勉強になる。</p> <p>中学校の分量を見たが、結構どこも長い教材が多い。恐らく今の授業のやり方では、その授業中だけで読むのではなく、家で読んで来させる方法などをやっていると思う。それだけで値打ちがあるわけで、そういうところも考えておかなければ、授業もますます難しくなっている。今までは、授業の日に、自分が選んだ教材を持ってきて、プリントを配って、出た意見を考えさせて、どう結びつけるかであった。今はもうあらかじめ教科書を読んできている。そこで、極端に言えば、頭の回転の早い子はこう言えばいいんだらうとか、このように言うておけばここは主題にも沿っているからいいんだらうというようなやり方に結びつきやすい。例えば日文は主題がもう書いてある。だからできるだけそういうことも考える中で、トータルで考えていかないといけない。一度、「語りかける目」というのを読んでほしい。これは多感な子供たちにぜひ学習してほしい教材で、あかつきの1年生130ページ、教育出版2年生の128ページ、この2者しかない。阪神大震災の時の涙が出る教材。かといって涙の出る教材ばかりでなくて、未来に向かうような展望のある、アップルロード作戦などもある。そのような教材が集約されていると思われるので、もう1回あかつきでどうかと思う。</p> |
| 神本委員 教育長 | <p>あかつきは涙が出る教材が多いと聞いている。</p> <p>やはり道徳は教材だと思う。中学校は小学校と違って自分で考える。少々教材が長くてもよいと思う。月明かりで見送った夜汽車もいい作品である。</p> |
| 教育長 | <p>他に何か意見はないか。</p> |
| 委員（全員） | <p>ない。</p> |
| 教育長 | <p>それでは、提案の中のうちの一つにある「廣 あかつき」ということでよろしいか。</p> |
| 委員（全員） | <p>よい。</p> |
| 教育長 | <p>それでは、道徳は「廣 あかつき」に決定する。中学校における教科書の採択は以上である。最後に確認をお願いする。</p> |
| 事務局 | <p>国語が「三省堂」、書写が「教育出版」、地理が「東京書籍」、歴史が「東京書籍」、公民が「日本文教出版」、地図が「帝国書院」、数学が「学校図書」、理科が「啓林館」、音楽（一般）が「教育芸術社」、音楽（器楽合奏）が「教育芸術社」、美術が「光村図書」、保健体育が「東京書籍」、技術・家庭の技術分野が「東京書籍」、家庭分野が「東京書籍」、英語が「開隆堂」、道徳が「廣 あかつき」である。</p> |
| 教育長 | <p>日程第4、議案第46号、「令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」採決を行う。ただ今、事務局でまとめて確認をしたが、賛成の委員は挙手をお願いする。</p> |
| 委員 | <p>（全員挙手）</p> |
| 教育長 | <p>日程第4、議案第46号、「令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」採決された。慎重な審議に感謝する。</p> |